

お の た け お  
小野武夫

(1883~1949) 農学者

明治 16 年 川辺村 (三重町) 生まれ

農業への指向は、篤農家であった祖父の影響を多大に受けた。県立農学校卒業、上京し、農商務省に勤務。職を転々とする間、農民経済史の研究を続ける。帝国農会の委嘱を受け、永年小作慣行の調査を行い「永小作論」を発表。農民経済史の他、百姓一揆の研究も行い、一生を農村研究にささげた。

参考：『大分県歴史人物事典』『三重町誌 沿革編』